

森の中の四寸傘プロジェクト

2001.4-2002.5

所在地 岐阜県美濃市曽代88

岐阜県立森林文化アカデミー地内

建築面積 26.50㎡(8坪) 延床面積 13.25㎡(4坪)

設計・施工 岐阜県立森林文化アカデミー

木造建築スタジオ

滝口泰弘(一期生) 高橋 理恵(一期生) 福本 愛(一期生) 森本 周子(一期生) 三澤 文子(教授) 小原 勝彦(助手) 辻 充孝(助手)

参加総人数 81人(570人工) 総工事費 230万円

岐阜県立森林文化アカデミー 木造建築スタジオ 〒501-3714 岐阜県美濃市曽代88 TEL 0575・35・3889/FAX 0575・35・3890 Mail studio@forest.ac.jp/URL www.forest.ac.jp



2001.4.19-2002.5.16



2001.05.24 学内講評会



2001.07.18 着工・地縄張り



2001.07.27 掘り方1日目



2001.08.10 コンクリー



2001.09.05 刻み5日目



2001.10.23 竹小舞壁下地

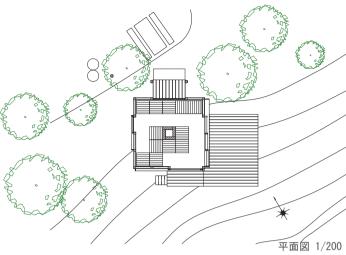
自力建設プロジェクト

岐阜県立森林文化アカデミー木造建築スタジオのメインカリキュラムである「自力建設プロジェクトと は、入学当初の学生が木造建築のいろはを学ぶため、設計施工を学生自らの手によって行い、毎

年一棟の木造小建築を創り出すものである。建築主であるアカデミーの要望に答え、地域の木材の 使用・予算という条件の中、地域の職人さんの指導と、助っ人となる他分野の学生の協力を得ながら、

木造建築を創り出す過程を、体験を通して丁寧に習得していくものである。

初年度の課題は「演習林内の休憩小屋、 長良杉の使用、予算200万」。4人の学 生による設計コンペにより選ばれた「森 の中の四寸傘」は水場の無い尾根の上に、 雨を集める傘の形状をした小さな小屋を、 規格材である地場の四寸角材のみの 架構で創り出すという設計趣旨である。 構造用金物(Dボルト)や鋼板葺きの屋 根と、伝統軸組継手仕口や竹小舞壁と を複合させたこの建物は、地域の伝統 技術を学ぶという側面と、実社会におけ る即戦力を身につけるという、各々の部 分を、さらには建物を創るという行為の 重みを、実体験を通じて私たちに教え てくれたかけがえのない存在である。





北側外観



可動床と囲炉裏が見える



森の中の四寸傘 竣工式 南側外観